

のり養殖通報第10報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議 平成31年2月6日発行

[気象・海況]内湾はリン低レベル, 富津岬南は沖合水波及継続

- 1月中下旬の気温は平年並み～やや高めで推移し, 2月に入ると急上昇した。また1月中はほとんど降雨が無かったが, 1月31日～2月1日には約20mmのまとまった降雨があった。気象予報では8日以降は気温が平年を下回る日が多く天気は周期的に変化すると予想されている。
- 2月5日の観測では, 表層水温は内湾が8～10℃台で前年並み, 内房は沖合水が波及し, 大貫沖では前年より3℃程度高い15℃台となっている。内湾では植物プランクトンがやや減少し透明度は回復傾向にあるが, リンの値は低レベルが続いている。内房では沖合水の影響で窒素, リンともにやや減少しているがリンは内湾より多い量が含まれている(表1)。
- 新富津漁協自動観測ブイによる観測値では, 12月下旬以降, 沖合水の波及が強まり水温が断続的に16℃台まで上昇している。1月25日～2月2日にかけては一旦波及が弱まったが, 強い南風が吹いた2月3日以降は再び16℃台に上昇した。

[今後の留意点] 栄養塩回復に期待

- 富津岬以南では沖合水の波及で高い水温が続き, 魚類の食害対策を余儀なくされています。岸よりの漁場など比較的水温の低い場所を有効に活用し, 対策を施しながら状況好転を待ってください。
- 5日の観測結果では栄養塩は低レベルが続いていますが, 6日には15mmを超える降雨があり9日にも降雨(降雪)が予報されていることから今後の回復が期待できます。計画的な網管理で良質ノリの増産を目指してください。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。
 次回は2月20日頃発行します。

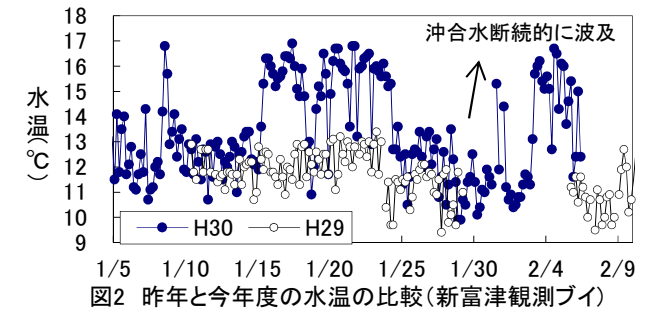
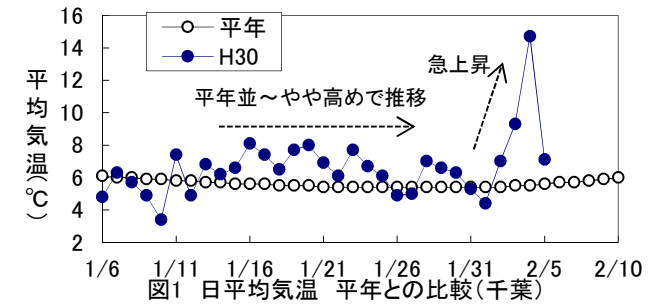


表1 水質観測結果(2/5)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	8.8	31.4	8.4	3.0	392	1未満
盤洲Cブイ	9.6	32.1	8.4	5.5	351	1未満
盤洲Bブイ	9.5	32.2	8.4	4.5	315	1未満
盤洲Aブイ	9.7	32.4	8.3	4.5	318	1未満
富津ベタ	10.2	32.4	8.3	4.2	316	1未満
2海ほ下	11.8	33.4		2.0	187	3
大貫沖	15.5	34.5		8.0	74	8

*溶存無機態窒素 (μg/l) 、**リン酸態リン (μg/l)

※高色調のノリの生産に必要なレベル 窒素 110 リン 8

ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル 窒素 90 リン 5